

授業実践（11）中学校2年生「静寂のマウンド」

1 主題名 夢の実現を目指して 【内容項目A-(4)希望と勇気、克己と強い意志】

2 教材名 「静寂のマウンド」(出典『NHK ティーチーズ・ライブラリー』NHK アーカイブス)

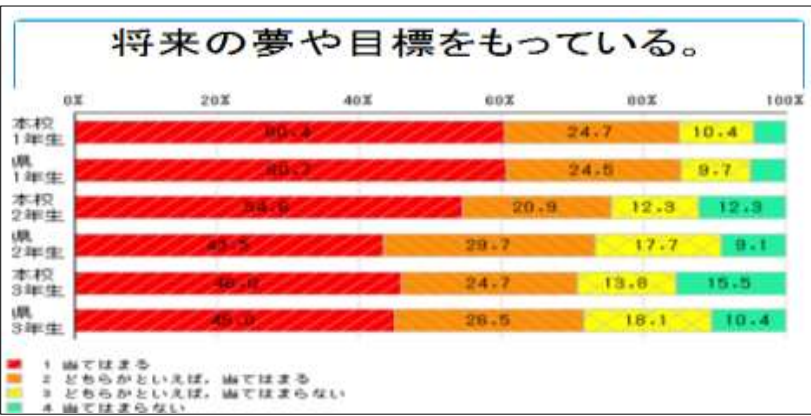
3 教材のあらすじ

石井裕也選手は先天性の難聴という障害をもちながらも夢を叶えてプロ野球選手になるが、挫折を経験する。しかし、石井選手は逆境にあっても諦めずに努力を続けて一軍復帰を果たす。夢や目標に向かって努力していくことの大切さを考えさせることができる資料である。

4 ねらい

石井選手の姿に、自分の経験や思いを重ねて考えるを通して、困難や失敗にくじけずに努力して、これからの自分の進路に向かおうとする意欲をもたせる。

5 展開

段階	学習活動 ◆主な手立て	主な発問(○) 生徒の発言(・) 補助発問(●)
自己を見つめる	1 自分の夢について考える。 ◆職場体験の写真を提示して、将来の夢と関連付けながら、活動を振り返らせる。	○将来の夢はありますか。また、そのために努力していることはありますか。 
	2 耳が聞こえないことについて考える。 ◆想起しやすいように、事例や状況の補足をする。	○耳が聞こえないと困ることや大変なことはどんなことだと思いますか。 ・車が来ても分からない。 ・避難が遅れる。 ・会話ができない。
	3 資料を視聴し、考える。 【書く活動①】	○石井選手の生き方で、見習いたいと思う部分は、どんなことですか。 ・集中力がある。 ・耳が聞こえなくても、夢をあきらめずに、夢を叶えたこと。 ・一回、二軍に落ちたけど、そこから一軍に戻るために、とても頑張っていた。 ・耳が聞こえないという自分の不利なところを、集中力を高めるために、有利にするところ。

プロ野球で活躍する石井選手の生き方を知り、考えよう

自分の考えを広げ、深める

◆障害をどのようにカバーしていたかを考えさせて、プロ野球選手として野球を続けることの偉大さを感じ取らせる。

【話し合い】

◆班で出た意見を整理するため、各自が付箋に書いた考えを、分類しながらホワイトボードにまとめ、できた班から黒板に掲示するように指示する。

◆黒板に提示した考えの中で、自分も同じように努力していることがあるかどうか振り返らせることで、自己肯定感をもたせながら、自己の生き方を考えさせる。

4 自分の夢や目標に向かって、これからどんな努力をしていきたいか考える。

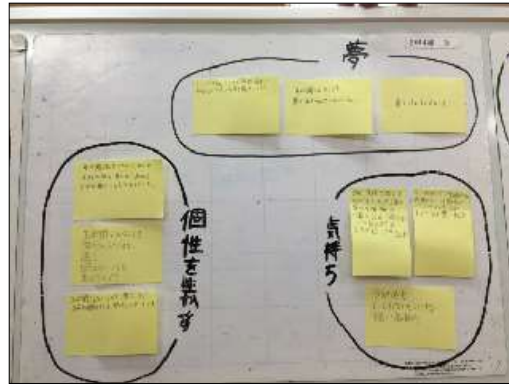
【書く活動②】

◆職場体験の感想の中から将来に向けての夢や目標について書いている生徒の感想を紹介する。

○班でまとめましょう。それぞれ、付箋に書いた考えを発表し、似ている考えが分かるように、ホワイトボードにまとめましょう。

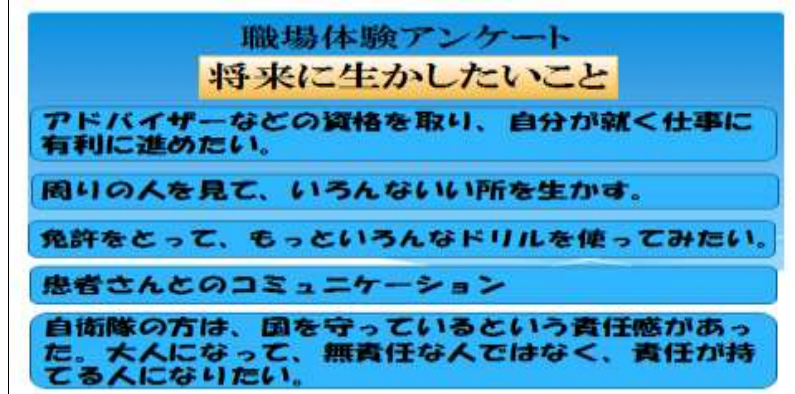


この意見とこの意見は、「努力系」かな。一緒にまとめられるよね。



ここに書いてあることで、自分もできていることがあるかもしれないね。

○授業を振り返って、感じたことや考えたことを書きましょう。



じわじわの自分を考える

[授業のまとめ]

- 「自己を見つめることができたか」について
 - ・職場体験で活動した前と後で、なりたいと思う職業に対して思いが強くなったという発言や、まだ決めきれていないという発言を、全体で共有しました。アンケートの結果を見せて、全体の考えを大まかに紹介したり、職場体験の写真を提示して活動を振り返らせたりしたことが、自己を見つめるきっかけになりました。
- 「自己の考えを広げ、深めることができたか」について
 - ・考えを交流するための手立てとして、今回は、書く活動①の段階で、ワークシートではなく、付箋を使用しました。資料から感じ取ることができる道徳的価値が幾つか考えられたため、分類してまとめさせました。生徒は、多様な価値観に触れ、自己の考えを広げることができたと考えます。
- 「これからの自己を考えることができたか」について
 - ・終末で、事前にかかせた職場体験学習の感想の中から、将来を意識した目標や感想を紹介することで、進路を意識する自分たちの姿勢に気付かせることができました。
 - ・書く活動②で、「授業を振り返って、感じたことや考えたことを書きましよう」と伝えて感想を書かせた中では、石井選手の偉大さを書いている生徒や、これからの自己の生き方について記述している生徒が多くいました。終末の発問では、これからの実践意欲を記入するように、具体的な指示を出すことが必要だと考えられます。